

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)

きゅうのざきはまとうみょうだい

旧野崎浜灯明台

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



場所

倉敷市児島味野



時代

江戸時代



指定年月日

昭和49(1974)年
10月19日



所有

(公財) 竜王会館



見学

見学可



この建造物について

この建築は日本式木造灯明台で、味野浜と赤崎浜境の入江の埠頭にあり、文久3(1863)年に塩釜明神の御神燈として、また、浜へ出入りする船の夜間照明のための灯台として建てられました。

この地は野崎武左衛門が創始した塩田地帯の東端に当たり、かつては野崎浜と呼ばれ、塩の積出しをする船着場になっていました。

灯明台は高さは約9.7mで、灯室の周囲には欄干を巡らし、その下から四面に裾開きに焼板を張り、基礎部分は花崗岩でできています。

こうした形式のものは全国的にも少なく、西洋式灯台に変わる以前の灯台を知ることができる資料として、貴重なものです。